



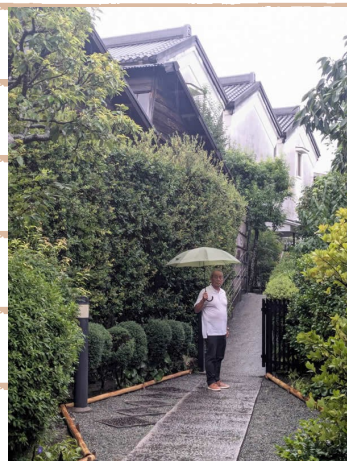
石のTOZAI

新聞



私たちが住む和泉市は、今年市制70周年を迎えました。「とかいなか」と言われている通り、都会の近くでありながら、山に囲まれた田舎の雰囲気も多く残しています。少し行けばきれいな川や蛍が見られる場所があり、とても住みやすいところですよ。家の近くには市立の久保惣記念美術館も

あります。9月は和泉市民は入館料無料だったので、先日訪れてみました。地方の小さな美術館ですが、きれいなお庭もあり雰囲気がとても良く、レノワールやモネ、ゴッホ、北斎や広重の絵や、銅鐙や銅鏡等もゆっくりと見ることができ、とても良い時間を過ごせました。千利休に関する物も多く、茶室やコンサートホール、ギャラリーもあり、市民の文化活動の場となっています。これまではなかなか訪れる機会が少なかったのですが、時折、目の保養や息抜きに訪れてみたいと思いました。



知っていますか? 10月の記念日

●10月21日は「早稲田大学開校記念日」です。現在の早稲田大学の前身である「東京専門学校」が、1882年(明治15年)のこの日に政治家大隈重信によって設立されました。設立から20年後には、現在の「早稲田大学」へと改称されています。

大正時代に入ると大学令に基づく大学となり、慶應義塾大学とともに日本で最初の私立大学となりました。



■ 発行者：石のTOZAI

林 祥子（はやし しょうこ）

堺市出身。2月生まれの水瓶座。
府立鳳高校より武庫川女子
大文学部教育学科卒業。
夫、長男夫婦、孫(中3男子、
中1&小1女子)の7人家族。
毎日にぎやかです！
所属：日本石材産業協会



※昔はピアノ、エレクトーン
の先生をしていました。今でも当時の生徒さんたちと、たまに食事をしたりして楽しんでいます♪ 忙しい毎日ですが、家に帰り、孫たちの顔を見るとホッとします。



石の東西 (TOZAI)

TEL: 072-274-0018

大阪府堺市西区原田114-1

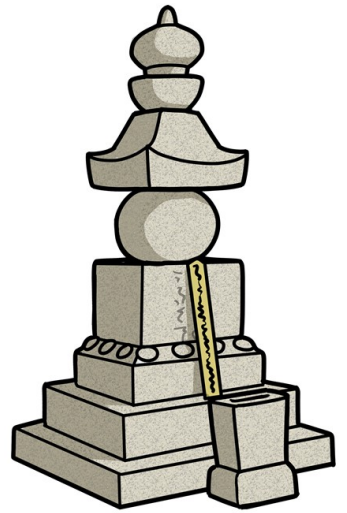


～お墓・仏事のミニ知識～



★兄 秀吉を支え続けた名補佐役が眠る「大納言塚」

大河ドラマ「豊臣兄弟」で注目を集めている豊臣秀長は、豊臣秀吉の実弟として天下人である兄を陰から支え、政務や諸大名との調整役として力を発揮しました。その秀長のお墓として知られているのが、奈良県大和郡山市にある大納言塚です。病のため52歳で亡くなった秀長は、当初は居城の大和郡山城近くに葬られましたが、その後墓所が荒廃。江戸時代中期に地元の人々の協力によって五輪塔が再建され、現在の大納言塚となりました。今日の大和郡山の礎を築いた、名君としても知られる秀長。大納言塚は、秀長が今なお多くの人に敬愛されていることが感じられる場所でもあります。



仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

インドの世界遺産タージ・マハルは、時の皇帝が亡き妻のお墓として作られたとされています。建築上、どのような特徴を持っているのでしょうか？

- ① 5階建てである
- ② すべてコンクリートで作られている
- ③ 完全な左右対称である

ヒント

唯一、棺を安置している場所だけがこれに当てはまらないとされています。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。